

か  
す  
か  
舞  
行

ABURA  
KATABURA

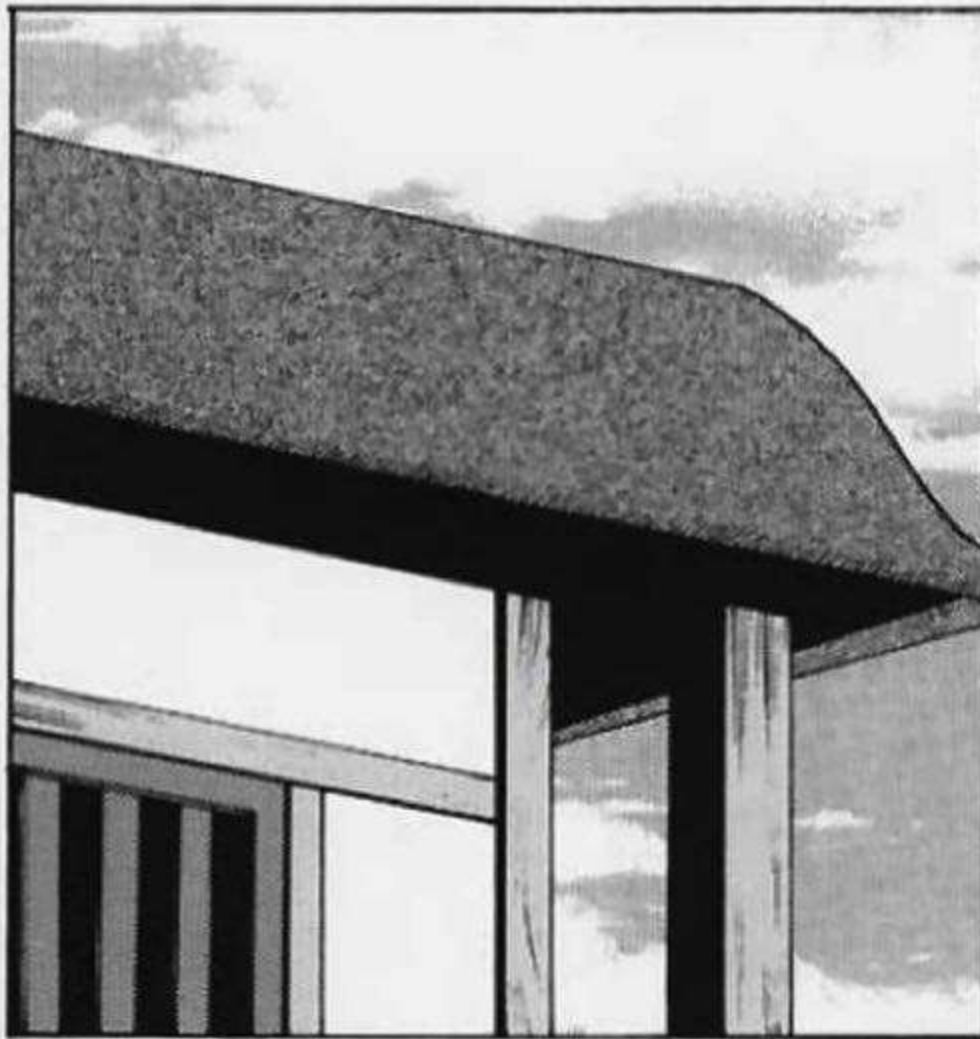
SINCE 1995



この物語は、二人の異母姉妹の  
ほんの少しの心のすれ違いが  
おこした悲劇……

姉かすみは、兄の仇を討つために  
望んで、抜け忍となるが、  
結果として、天狗万骨坊の  
奸計にはまり  
その兄を自らの殺めてしまうのだが、  
全てを画策した  
万骨坊を倒すことで  
その名声は世界中にとどろく事となり  
そのジレンマに苛まれる……

一方、妹あやねは  
古来からのしがらみにとらわれず  
自由に逞しく生きる  
さながら可憐なヒロインのような  
姉に、ずっと羨望と憎しみの  
眼差しで見続けてきたためか  
それでもなお、  
輝き続ける姉を許す事が  
できなかった……



# かすみ憐獄行

## 前作のあらすじ

異母姉、かすみと妹、あやねが密かに心をよせていた自分の兄、疾風を故意ならずとも、その手にかけてたことで運命は狂々と廻りはじめた…

かすみは、あやねの計画した自らを捕獲するための罠にあえてはまることで

自分の罪を精算しようと考えたがそこに待っていたのは、

想像した以上の屈辱と凌辱、暴行、拷問、ゴミ同然の肉奴隷としての毎日であった…

しかしながら

その悲惨な日々の中にあつてかすみは改めて、あやねの自分に対する憎しみの深さを知るのだった…

…そう、憎しみの深さだけを…

一方、かすみのくの一としての名声と疾風を殺めたという事実は今なお、あやねの心を追いつめていくのである…

そう、二人の心は、今なお安まることはなかったのである…

…前作「かすみ地獄変」ってそんな話だったけ？  
といった的確な野次はお断り(笑)



オラッ  
もつと気合い入れて  
締めつけねえかッ  
このプタクのーイイツ



ひひ、そうだ  
最初から言うとおりに  
しやがれつてんだ…  
しかし、なんと犯つても  
飽きないぜ  
コイツのオンコはッ

ん？オレ様の前に  
先客がいるのかい  
相変わらずの  
人気者ぶりだねえ

///  
///  
///

ひびく

おうッ、兄貴  
先にいただいてやすッ  
ひひひ  
早起きした甲斐が  
あるつてもんだ

おらん

おらん

おらん

///  
///

じゃあ、オレ様は  
霞ちゃんの  
かわいいお口で  
ご奉仕してもらおうか

おらん

あっ……

よし、いい子だ  
もう、前みたいに  
粹がつて嘔むんじや  
ねえぞ

ぎやはは、いくら  
巨乳バカのこイツ  
でも、それぐらいの  
学習能力ぐらい  
あるだろ

そりやそうだ  
霞ッ、非道い目に  
遭いたくなかったら  
しつかり、しゃぶつて  
くれよ



でも兄貴ッ、今でも  
頭領の娘とは  
思えないぐらいに  
充分非道い待遇  
ですぜッ

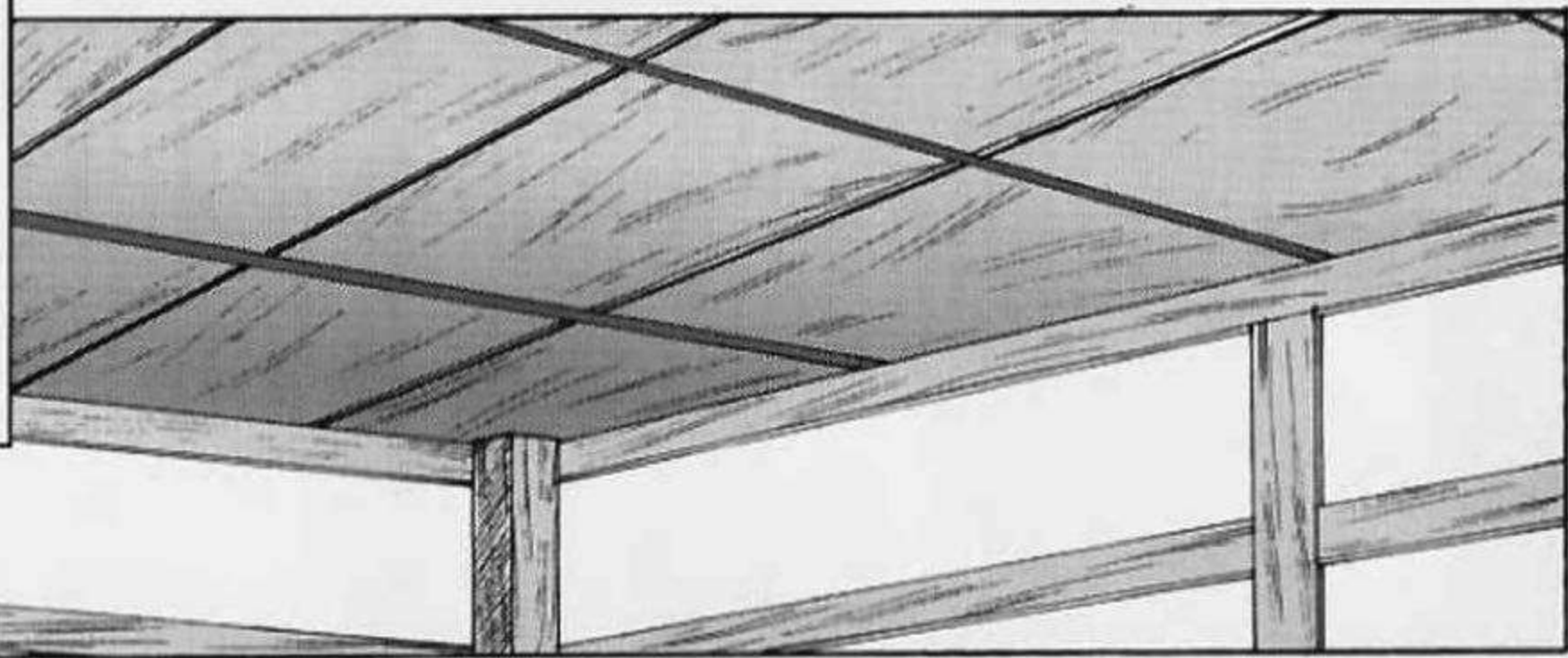
うはははーッ  
確かにな  
でも、生かされてる  
だけでも  
感謝して欲しいぜ





さあ、今度は  
オレ達のモノを  
慰めてくれよ  
お便所くのーちゃん

私の全て……  
躰だけでなく  
心までも  
凌辱し尽くしてもなお  
下忍共が満足する事は  
なく、むしろ欲望は  
増大する一方だった……



ひひひ、最近おしりの  
方も敏感になってきたね  
グイグイ締め付けて  
くるよ



……じいさんの方は  
いいよな  
こっちの穴は最近、  
締めまりが悪いわ



こうして、毎日私は  
私の体力が続く限り  
下忍共の永遠に  
留まる事を知らない獣欲の  
捌け口にされる……

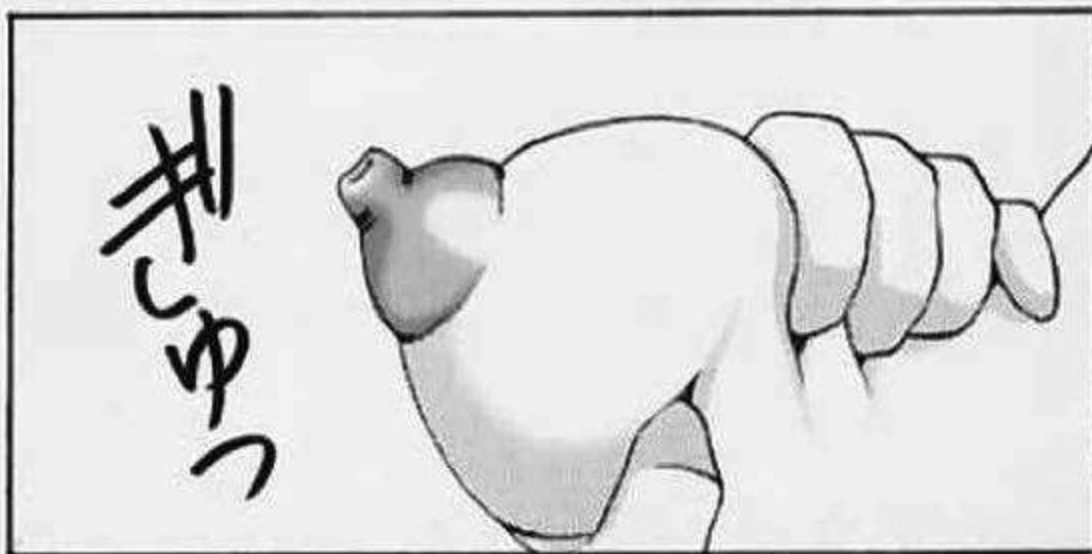




ケツ、霞の  
こんな腐れ○ンコじゃ  
物足りねーぜ  
あーあ、一度でいいから  
あやね様を蹂躪して  
みてえよな



おつ、いい事言う  
じゃないか  
さしずめ異母姉妹の  
コイツは、あやね様の  
代用品ってどこか



オラ、だからって  
手抜んじゃねーぞ  
お前は死ぬまで  
オレ達に奉仕し  
続けるんだッ



ぎやははっ  
そりや、そうだな  
もうこのフタには  
それぐらいの価値  
しかねーよな

ケツ、霞の  
この腐れ○ンコ  
物足りねーぜ  
あーあ、一度でいいから  
あやね様を蹂躪して  
みてえよな

さすがに、ご自慢の  
巨乳だけは、まだまだ  
揉みごたえがあつて  
征服しがいがあるな

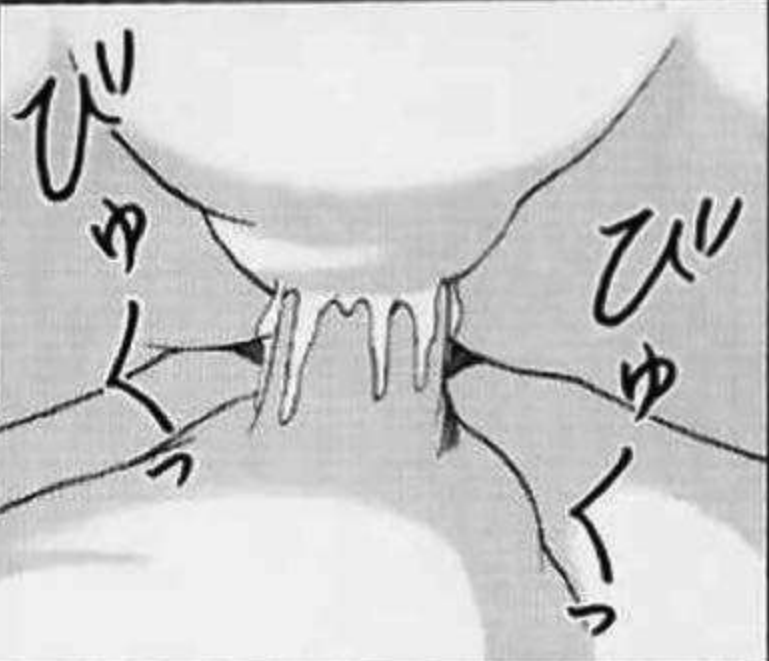


そう、下忍共にとつて  
私は最早、あやねの代わり  
でしかないの  
それだけの価値しかない  
肉便所にしか  
見られていない……  
でも、私は、それでも……



：私は、私をこんな目に  
遭わせたあやねの事を  
憎んでいた…はずだった  
でも、私は本当は分かっていた  
あやねをそこまで追いつめた  
原因が私自身にある事を…  
その報いを今受けている事を…

汚らしい男根から  
放たれる  
この臭気と毒液を  
どれだけ身に纏っても  
消し去る事のできない  
罪悪感……



へへッ、そんなに言葉で  
苛めてないで、早く  
代わってくださいよ  
もお、オレのオンポ  
はちきれそうっすよ



えっ、どんな気分だい？  
霞お嬢ちゃん  
抜け忍なんかにならなければ  
今頃、頭首として  
アゴで使ってただろう  
こんなクズみたいな連中に  
毎日ポロキレのように  
輪姦される心境ってヤツは？





クッ  
なかなかやるッ



…その事を知っている  
と言う事といい  
先程の俊敏な攻撃…  
やはり、お前が  
我が影を倒したくの一  
なのか…答えるッ



…コイツ、私の事を  
霞だと勘違いしてる  
…ん、でも  
コイツを殺せば、私は  
霞以上の名声を…



???  
お、お前は万骨坊?  
死んだんじゃ  
なかったのッ?

悪いね  
その首もらうよ



ふんッ  
ヌルいわッ  
こわっぱがッ



はっ??



ふふふ、すぐには  
殺しはせんぞ  
貴様には、たつぷりと  
その牀に、女の無力さを  
味あわせてやろう



ハア

かほっ



はんッ  
噂の万骨坊つていうヤツは  
ただのゴロ天狗じゃないッ  
そんな、グズ野郎に  
私が負ける訳ないねッ  
死ねッ

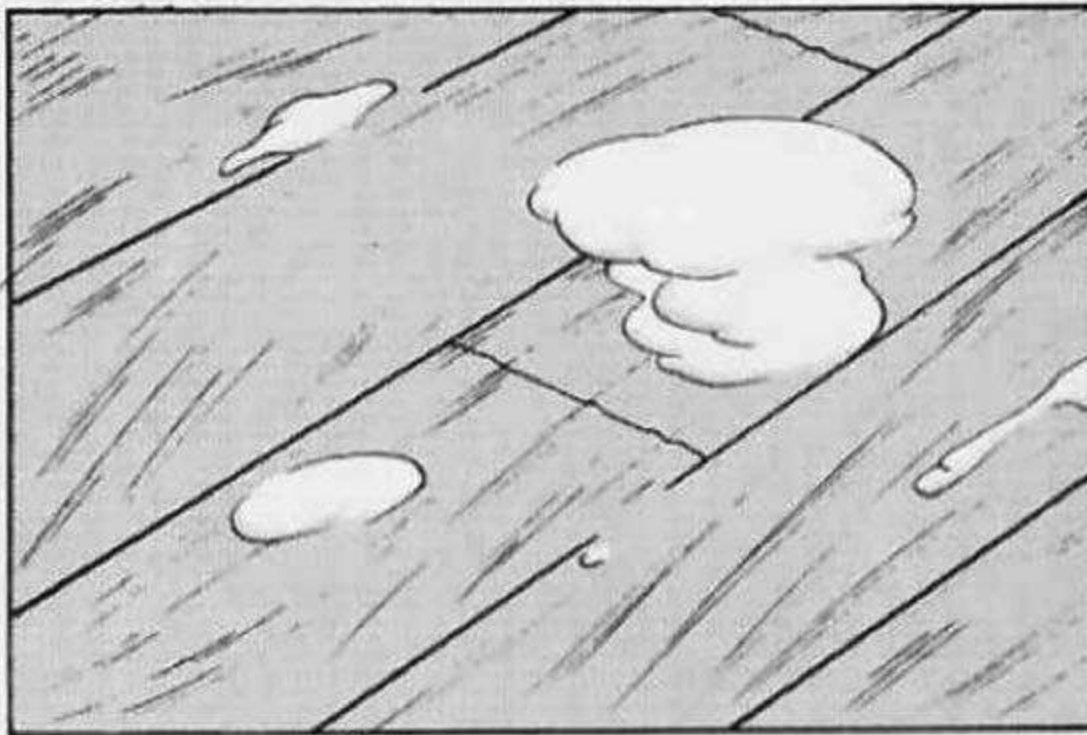


アッ  
ッ





身も心も蹂躪され尽くし  
薄れゆく意識の中……  
下忍達の白濁液の臭気で  
この部屋が満たされる頃  
今日の凌辱が  
終わりを告げる事に気付く





…はい

ソ  
ロ  
ツ



けけけ、いつの間にか  
随分と従順な雌犬に  
なつたもんだ  
次期頭首として  
凜としていた頃の  
面影なんて  
今はありやしねえな

はあ

はあ



あやねが…  
あやねの心が癒されるなら  
それだけでいい…  
私の分も、あなたには  
輝いていて欲しいの  
ねえ、あやね…

獣欲の掃き溜めでしかない  
私は、もうどうなつても  
かまわないの…  
この屈辱…  
どこまでも随ちていくの…  
そう、今は…  
ただ…ただ



ア  
ア  
ア



…手ごしらせよって  
さすが、我が影を  
倒しただけの事はある



エツ？誰がエロ天狗だあ？  
この腐れオンコが  
でかい口ききよつてッ  
たつぷりと  
犯りまくつてから  
ゆつくりと屈辱の中で  
鬨り殺してくれるわッ

今頃、あやね  
どうしてるかな…  
あなたの幸せを  
見つけられたかな？  
もう、私を意識する  
必要もないし  
無理して背伸びしなくても  
いいんだよ…



千、畜生  
離せッ



ヒヒヒヒヒヒ  
さあ、ゆつくりと楽しませて  
もらおうかな  
そのほかデカイ乳房を  
入念になッ

神様……  
お願いです  
私の分も、あやねに祝福を……  
この十六年間、一度も  
休まることのなかった  
彼女の心に安らぎを……



ふん、今の間にせいせい  
吠えておくんだな  
いつか、お前を必ず  
殺してやるッ

惨めな末路……  
 ゲス共の慰め者でしかない  
 わたしのようにには  
 ならないでね……  
 ふふ、あなたに限って  
 そんな心配はいらないよね



ん？なんだ貴様  
 乳首を噛まれて  
 感じているのか  
 ふおふおおつ  
 さすが、クサレマ○の  
 くの一だけの事はある

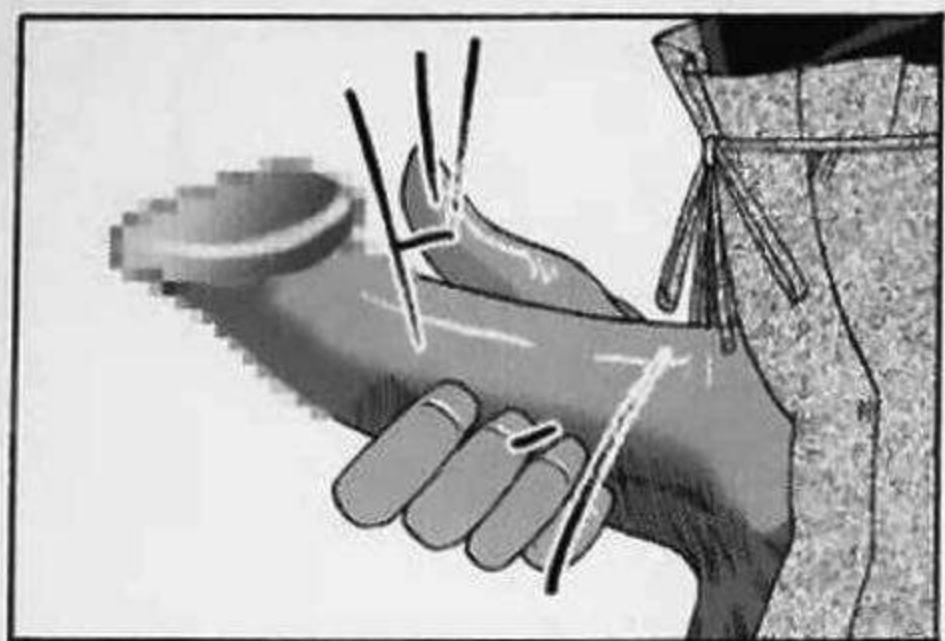
あつ



や、やだっ  
 やめろおおお

ハッハッハッ

はんッ  
貴様を喜ばせて  
やるつもりは毛頭ない  
のでな  
とつとつ、天狗様の  
イチモツをくわえさせて  
やろう



ぶる

ぶる

ふふん  
そんな短くて卑小な  
モノで  
わ、わたしを  
満足させられると…



…よく喚くメスフタだな  
つまらないモノかどうかは  
自分の花卉で  
確かめてみるがいいッ

アッ  
アッ  
アッ

オラッ



ひ、ひ！

ひぎゅひぎゅひぎゅ

アッ  
アッ  
アッ



何も答える気は  
ないと言うわけか……  
まあ、いい  
じっくりとその軀に  
聞いてやるまでだよ



あ、あううう  
ち、畜生ーッ  
ビュクビュク流れ  
こんでくるうッ

疾風様のために今まで大切に  
守り抜いてきた純潔を  
こんなクソ野郎に奪われたうえに  
初体験で膣内射精されるなんて……  
霞のフリなんかしなければ……  
いやッ、元はと言えは霞が  
天狗なんかと戦ったからだッ  
アイツは、肉便所に成り果ててまでも  
まだ私を苦しめるッ



あつい……  
お腹の中が  
あついよおお

今頃泣き出してても  
もう遅いわッ  
これだけ射精されれば  
天狗様の子を孕んだ  
かもしれないなあ  
ヒャーハッハッハッ







そうだ、いいぞ  
そのでか乳は伊達しやないな  
そのまま乳首を龟头に  
こすりつけながら  
しごけッ



くそおおお



ざっざっ



ざっざっ



ハッハッ  
いいやあ  
もうやめろ  
・・・やめてーッ



ハッハッ

ハッハッ

ヒャーハッハッ  
乳房だけでなく  
乳首の擦れる音まで  
卑猥じやなッ  
よおし、ご褒美に顔面に  
ワシのスヘルマを  
ぶちまけてやるッ



！  
お、お願いです  
ば、万骨坊様  
そ、それだけは  
お許しくださいッ

は？  
はぎゅっ  
はぎゅっ

妖術  
乳しぼりッ  
…なんちやつてな  
ギャーハッハッハッ

あ？  
あう…あう

くくく、その屈辱に  
耐えきれず歪んだ  
その顔こそ、極上の悦楽…  
…気が変わったぞ  
貴様は生かしておいてやる  
仲間の元へ返してやろう  
…ふふふ

霞ちゃん  
ビックニュースだよ  
なんと今日から  
お仲間の家畜が増えるぜ  
その二匹目つて言うのが



なんと、あのあやね様  
なんだよ  
天狗がねえ  
肉奴隷に調教しろ  
つてさ……  
霞ちゃん、良かったね  
もう寂しくないよ



……？  
そんなあ、いいいやあ  
神様はいないの？  
あやねの幸せだけが  
私に残された  
最後の抛り所だったのに……



それとも、あやね……  
あなたは私を下忍共の  
肉奴隷にするだけでは  
飽きたらず  
自分を貶める事で  
まだ私を責め続ける気なの？

まあ、オレは霞ちゃんの  
方が、好みなんで  
関係ないんだけどね！  
要は、あいつらがあやね様に  
飽きるまで  
霞ちゃんは独り占め  
できるってコト！



あやねーッ





お、おい  
お前達...下忍の分際で  
さつきから何をそんなに  
蔑むような目で  
こっちを見ているんだ  
は、早く、助けないか...  
...た、助けてくれるんだろ?

To be continued...

哀れな異母姉妹に  
引導を...

**For ADULT Only**